

会 議 録

第20回定例会

開会 令和5年2月27日

教育委員会会議録

1 開 会 令和5年2月27日 午前10時

2 閉 会 令和5年2月27日 午前11時30分

3 教育委員会出席者

教育長	榊 浩一
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	岡本 弘子
委員	横田 賢二

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	臼杵 一浩
教 育 次 長	中野 敏章
教 育 次 長	生田 雅和
教 育 創 生 課 長	重田 英紀
教 職 員 課 長	真相 秀也
グローバル・文化創造幹	寺澤 昌子
体育健康安全課長	吉岡 直彦
生涯学習課長	倉橋 文代
教育政策課長	小原 広行
教育政策課副課長	山星 茂

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 協議事項1，及び協議事項2を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし，議事に入ることを告げる。

《議案第60号 徳島県立学校規則及び徳島県立高等学校通学区域等に関する規則の一部を改正する規則について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第60号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第60号を原案どおり決定する旨を告げる。

《議案第61号 博物館の登録に関する規則の全部改正について》

教育長 説明を求める。

生涯学習課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第61号を原案どおり決定してよいかを諮る。
各委員 異議なし。
教育長 議案第61号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項1 「徳島県における中学校の部活動の地域移行に向けての手引き（素案）」
について》

教育長 報告を求める。
体育健康安全課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

河野委員：「手引き」の内容6にある「ハラスメント等の根絶」について、県サッカー協会が役員を務めているが、指導者からのハラスメント的なことがあるという声を、各チームや保護者からよく聞いている。協会としては、ライセンス取得をしていれば、協会からの指導の対象とすることができるが、ライセンスの取得がなければ指導等はできないのが現状である。今後、地域移行に向けて、指導者に対するハラスメント等をなくすための研修会や講習会が制度として必要であると思っている。また、地域移行に向けての予算面では、受益者負担の軽減が必要であると思っているが、地域差がある。費用負担が理由で部活動の機会が失われるようなことを防ぐため、県として大きな枠組みを示すなど検討をお願いしたい。

体育健康安全課長：ハラスメント等の根絶に関して、指導者の資格の取得については、徳島県スポーツ協会が対応することを検討している。できる限り、資格がある方に指導していただきたいと考えているが、徳島県の場合は資格がある方のみ指導ができるという仕組みにすると、人数を確保することが難しくなるので、指導者の方に対してはしっかりと研修を実施していくことで、一人一人の資質向上を図っていきたい。費用負担については、持続可能な部活動としていくためにも、一定の負担は必要であると考えているが、県や市町村においては、国の補助金等も活用し、部活動の機会が経済的な問題で失われることがないよう取り組んでまいりたい。

岡本委員：スポーツに関する資格だけではなく、指導するに当たっての認定証のよう

なものが必要であると思う。何か問題が起きた際も、学校からその指導者に対して責任を追究していくことは難しいと考えられるので、どこが管轄して対処していくかを考えていただきたい。また、来年度からはこの「手引き」を学校等にも配布し、本格的に地域移行が進められていくと思うが、地域ごとに状況は異なると思うので、段階を経て丁寧に進めていただくようお願いする。

三木委員：地域によって施設や指導者の数には差があると思うので、例えば指導者がいない地域には指導者を派遣できるような、地域を支援する仕組みなどを検討していただきたい。なお、地域移行については、中学校だけが対象となるのか。高校は対象とはならないのか。

体育健康安全課長：そのとおりである。国のガイドラインでは、まず中学校で進めるということになっており、高校は今までどおり部活動として行っていく。

三木委員：将来的にも、高校は部活動として行っていくのか。

体育健康安全課長：そのとおりである。国において、そのような姿勢を示しているので、徳島県としても現時点では同様の考え方で行っていきたいと考えている。

島委員：今年度、小松島中学校を視察させていただいた際、昔は当たり前にあった野球部やサッカー部が、現在は存続が危ぶまれていることに非常に驚きを感じた。今の時代は、地域において部やチームを作って、そこに参加していくことになっているのだと思っている。今後、各地域が体制を整備していくための参考となるよう、中学校ごとでの部活動の活動や、地域ごとでの合同チームが分かるよう情報があれば良いと思う。地域の限られた人員で運営していかなくてはならないことや、部活動の改廃など、問題も多く出てくると思うが、広く周知していくことは重要であると考えているので、情報は積極的に公開していただきたい。

体育健康安全課長：地域移行推進協議会においても同様の議題が上がったが、徳島県内でも市町村によって状況は異なっている。この先、県内全体でも20年間で生徒数が3分の2まで減少するとされており、市町村によっては2分の1まで減少する所もある。そのように状況が異なる中で、今後、10年、20年、30年先の人口がどうなるのかであったり、子供がどうなるのかということなどを踏まえて、市町村それぞれが、スポーツ・文化芸術活動をどのように行っていくのかということを検討し、整えていく必要があると考えている。学校の部活動が生徒数の減少で成り立たなくなった場合に、

どのように対処していくのかということ、それぞれの状況に応じて検討し、市町村としての考え方や方針を、地元の方や学校の保護者、生徒達にしっかり伝えていくことが必要であるということ、今後の地域移行推進協議会でも引き続き発信してまいりたい。

河野委員：生徒数の問題やニーズなどを考えると、中学校の地域移行の枠組みだけでなく、小学校から連携し、計画的な指導や活動を考えていかなければならないのではないか。

体育健康安全課長：小学校ではスポーツ少年団として活動しており、スポーツ少年団を中学校段階まで広げていくことも1つの方法だと思う。そういったことも含めて、地域の実情に応じてシュミレーション等しながら行っていただきたいと考えている。

河野委員：各市町村、各中学校によって状況は違うので、それぞれの状況に応じた地域移行を目指していくということで理解した。なお、現状は、休日の地域移行がメインであり、その後、平日に広げていくということか。

体育健康安全課長：そのとおりである。

[非公開]

《協議事項1 教育委員会事務局等組織について》

《協議事項2 教職員人事異動に関する案件について》

[閉会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉会 午前11時30分